

令和6年度第3回袖ヶ浦市国民健康保険運営協議会

1 開催日時 令和7年2月6日（木） 午後2時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階災害対策室

3 出席委員

会 長	安枝 玲司	委 員	高橋 美緒
会長代理	杉浦 弘樹	委 員	山門 ひとみ
委 員	内藤 恵子	委 員	尾田 満
委 員	牧野 喜美代	委 員	藤井 希和
委 員	保坂 勝美		

(欠席委員)

委 員	東 昌幸	委 員	佐久間 貴章
委 員	栗林 典代	委 員	中村 武仁

4 出席職員

市民子育て部 部長	川口 秀	市民子育て部 次長	加藤 寿起
保険年金課 副参事	今村 豪	保険年金課 国保資格給付班長	長谷川 雅史

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人	傍聴人数	0人
------	----	------	----

6 議 題

(1) 令和7年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計予算（案）について

7 議 事

【議 事】

議 長 それでは、規定により、本日の議長を務めさせていただきます。
なお、本日の会議録につきましては、前回と同様に、発言者の氏名は伏せて、市のホームページに公開してまいりますので、ご了承願います。
それでは、本日の議題に入らせていただきます。
本日の議題は1件です。なお、議題については、採決をお諮りします。
では、議題1「令和7年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計予算（案）について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

【議 題 1】

事 務 局 議題1「令和7年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計予算（案）について」、配布資料により説明。

【質 疑】

委 員 収入の関係ですけれども、5ページの収納率が1.13ポイントの減という、単純に1%としても、国民健康保険税の額からすると約1,200万円とかなりの減額になると思いますが、現年分も滞繰分も収納率が下がっているということで、数字としてはあまりよくないのではないかと思います。

令和5年度の決算では、94.63%でしたが、決算の数字よりも予算はさらに下がっているということで、去年あれだけの大幅な改定をやって収納率が下がるということは、大幅な改正によって納付も少なくなったのではないかと言われてしまうのではないのでしょうか。できれば収納率は下げてほしくはなかったところですが、何か理由がありますか。

事 務 局 数値については、納税課の意向で1.13%減となったところです。積算の根拠としては、現年の収納率が物価高等の影響もあり全体的にだんだん下がってきているという実績に伴って、このような結果になっているところ です。

近隣市と比べるとまだ少し高い状況ですが、全国的にも少し下がり気味という中でどうしても下げざるを得なかったところですので、ご理解いただければと思います。

委員 それに関連して、もう一点収納部分で、諸収入で延滞金が1,300万円も大幅に減少していますが、先ほど調定額も下がっているからと説明されましたが、調定額は上がっていませんか？滞納繰越分も令和5年度決算と比べて、当初予算の調定額は上がっていると思います。

それにもかかわらず下がっているということは、現年分も含め本税の収納率が下がると本税が取れないから、それに伴い延滞金も取れていない状況かと思います。

それにしてもかなり下がっていて5年度決算でも1,800万円であったのが、それ以下に下がっていますが、それも先ほどと同じような回答になりますか。

事務局 滞納繰越分で、過年度から引き継いだ保険税が多ければ延滞金も増えるでしょうというのは、その通りです。

ただ中には、過年度分として引き継いだ分だけではなく、延滞金だけが残っている方もいまして、要は滞納繰越分の本税分は納め終わっていて、延滞金だけが残っている方もいて、その部分がだんだん減っていますので、こういった結果になっているということでご理解いただければと思います。

委員 ちなみに延滞金の最終納入期限は決められているのでしょうか。

事務局 延滞金の期限ですが、延滞金は本税の納付が終わった時点で確定するものとなっております。税は5年間で時効となります。その間に納付等があれば時効も延びますが、いつまでが期限かと言われれば時効が到来する時までということになります。

委員 繰越金ですが、1,000万円というところで、例年と同様だと思いますが、今年度の繰越金はどのくらい見込んでいるのでしょうか？

事務局 繰越金の見込みですが、補正予算については、歳入歳出は同額となります。ただ予備費1,000万円につきましては、使用しないだろうと見込まれますので、その金額が繰り越される見込みということになり、当初予算に計上しております。

委員 今までですと、財政調整基金条例に従って決算剰余金の10分の1をくだらない金額を積み立てることになっていて、その金額を予算計上し

ていたと思いますが、今回は1, 649万6千円ということで、中途半端の数字を計上されていますが、この金額となった理由は为什么呢か。

事務局 基金の積み立てについては、例年は歳入の方が少なかったため、財政調整基金を繰り入れて歳入を賄っておりましたが、今年度については、事業費納付金が予想以上に減少したために、歳入が歳出を上回ったため、積み立てるという予算計上となったものです。

委員 なかなかイレギュラーなことだとは思いますが、事業費納付金が下がったことにより、余裕があるという風に見えてしまい、見せ方としてこの辺はだいぶ悩んだところだと思いますが、事業費納付金が昨年から1億4,600万円程度下がっていて、ここら辺の算出はなかなか難しいと思いますけれども、県からの通知を待つしかありませんでしょうか。

事務局 事業費納付金につきましては、県の通知と言いますか、算定を待つしかないというのが結論というところになります。

ただ今後の見込みというところになりますと、事業費納付金の算定の基礎として県全体の医療費がありまして、被保険者の減少もありその医療費の部分はだんだん下がってくるだろうと思われま。

また機関紙等の分析ですと、社会保険に加入する方々が増えることによって、社会保険から補填される部分も増えてくるだろうということもございますので、国保財政も改善するのではないかとという観測がされているところでございます。

ただ実際に国の方でも年金制度改革といったことが、議論されている中で、制度の改正内容によっては上振れすることもありますので、楽観視はできません。

委員 事業費納付金が曲者だという話も聞きましたけれども、第1回審議会の税率改定の時には、国保財政運営方針に従って運営していくという話の中で、事業費納付金は年々増加していくという見込みで大幅な税率改定を行ったと思いますけれども、この感じだとあそこまでの大幅な改定はしなくてもよかったのではないかとそういうに思われてしまうのではないかと心配しているところです。

令和6年度はそれほどの剰余金は発生しないということですのでけれども、7年度の予算を見ていると、ここから事業費納付金はかなり上がる

ことは、説明を受けましたけれども、今年度も2回一般質問で国保の税率改定について出ていましたけれども、ここまでの大幅な改定は必要ないと言われてしまうような気がします、そこら辺はいかがですか。

事務局 前回運営方針を策定する際に、この先事業費納付金が上がっていくのではないかと試算をしていたところでございます。その大きな理由というのは、令和6年度の事業費納付金を算定するときに、県が15億円の余剰金を投入しております。

令和7年度以降はそれが担保されておりましたので、令和7年度以降の事業費納付金を上振れした形で計上していたところです。

実際には令和7年度においても10億円の余剰金を県が投入したものですから、事業費納付金下がっているところでございます。

来年度以降も県がこのまま同様に余剰金を投入していただければ、同じような推移になると思われましますけれども、確約がされておきませんので、県の算定を待つしかないのではないかと考えています。

委員 事業費納付金については、なかなか読めないところはあると思いますが、それによって取りすぎてしまったり不足してしまったりが生じてしまうと市民にとっても由々しき問題と思われましますので、難しいのはわかりますが、県との協議の中で事業費納付金のある程度の長期的な見通しや積算根拠などを示してもらわないと改定がやりづらいんじゃないでしょうか。

今回の改定は6年度と7年度を見越してというところだったと思いますが、資金ショートが起こってしまうといけなんでしょうけれども、余り過ぎても県内上位に保険税の方が上がっているところですので、どうかなと思ってお聞きしました。

委員 去年の8月の決算の時に、来年度の要望というところでお話しさせていただきましたが、保険税は近隣五市でもトップクラス、県内でも上位に位置している状況で市民の負担も増えているところですが、給付の方は変わらず他市より低いところです。

健康診査の助成ですね、近隣四市の高いところと比べて2万円の給付額の差があるというところで、今までは保険税が安かったのもこれでよかったかもしれませんが、今は木更津、君津よりも高くなった中で給付は最下位というところで、今予算を見ていると余裕があるのではないかと増額しない理由はどうなんでしょうか。

事務局 人間ドックの助成金というところかと思いますが、この事業費は当市の場合一般会計からの繰入れで実施しているところでございます。そういった中で、一般会計からも財政的に厳しいという声がありますので、今年度については見送らせていただいたところでございます。

ただ委員のご指摘のとおり、保険税が高い中で給付自体はそのままなのかという話もございますし、また助成をすることによって受診率だとかそういったところも上がって市民の皆様の健康増進につながるということは承知しておりますので、引き続きになってしまいますが、今後の検討課題とさせていただければと思います。

【採 決】

議長 採決をお諮りします。議題1「令和7年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計予算（案）について」を承認される方は、挙手をお願いします。

（全員挙手）

議題1について承認。

【閉 会】

午後2時40分閉会